

提唱者

型の性格



16 Personalities

はじめに

「人のあるべき姿を見て接すると、その人の人間としての可能性が開花される」

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ

提唱者 (INFJ 型) は最もまれな性格タイプですが、社会に大きく影響を与える人たちでもあります。強い信念を持ち、理想主義者である提唱者は惰性で生きる人生には満足せず、自身が立ち上がり、ものごとを改善したいと感じます。お金や地位を得ることを成功とは考えていず、人助けをしたり、世の中にポジティブな変化をもたらしたり、達成感を得たりすることを成功と考えるタイプです。

非常に高い目標や野心を持つというのが提唱者の特徴ですが、のんびりした夢想家ではありません。提唱者は誠意を大事にし、自分が正しいと思うことをしないと気が済まない性分です。自分の価値観をはっきり認識している上に、大切なことを見失わないように常に意識している根っから実直な人たちです。他の人の考えや社会規範をそのまま受け入れるのではなく、自身の知識と直感を基に何が大事か判断して、それを見失わないよう努める人が提唱者です。



目的を見い出す

提唱者の性格タイプが非常に珍しいからかもしれませんが、本人が自覚していない場合も含めて、「自分は大抵の人とは違う」と感じている傾向があります。豊かな内面を持つ上、人生の目的を見つけたいという深く揺るぎない思いがあるので、提唱者は周りの人となじまないこともあります。周りの人に受け入れられたり、親密な関係を築いたりするのは不可能という意味ではありません。ただ、「人に理解されない」「社会全般と相いれない」と時々感じるのです。

周りになじめないという感覚があっても、幸い社会をよくするという強い決意を提唱者が失うことはありません。不正義に心悩まされる人たちなので、通常、個人的利益より利他的行

動を重視します。クリエイティビティ、想像力や繊細さなどといった自身の持ち味を生かしながら他の人をサポートしたり、慈悲の心を広めたりするのが自分の役割だと感じる人が多いでしょう。

人助けをして誰かの生活を改善させることに提唱者は大きな喜びを感じるでしょう。

他者を支援することが、自分の人生の目的だと考える提唱者は少なくありません。正義のために、いい意味でものごとに介入して声を上げるよう、いつも提唱者は心掛けています。公平で生きやすい世の中を作るために、深刻な社会問題の解決をも目指します。理想を追求するばかりに、自分自身のケアを怠ってしまうこともあるので、ストレスがたまり、燃え尽きてしまう場合もあります。

人と(そして自分自身と)つながる

提唱者は内向的ですが、偽りのない深い人間関係を大事にする人たちです。相手を心から理解し、自分も相手に深く理解してもらう。これができるば、提唱者はとてつもなく大きな満足感を得られます。雑談より、奥の深い会話を断然好み、周りに気を配りながら穏やかに会話に参加する傾向もあります。提唱者の高い洞察力と自分の気持ちに正直である様子に、周りの人は強く印象付けられるでしょう。

二、三人との偽りのない親密な人間関係は、提唱者の心を満たすでしょう。

気が利く上に慈悲深い人たちなので、人間関係にかなりのエネルギーを注ぎ、気遣いもします。でも、だからといって相手からいつも感謝されるとは限りません。とても思慮深い人たちなので、自分の善意が理解されないともどかしく感じることもあるでしょう。その結果、たとえ建設的な批判であっても、非常にショックを受けたり傷ついたりすることがあります。

自分の使命

多くの提唱者は自分の人生には特別な目的がある、つまり“この地球上で自分が果たすべき使命”があると感じています。この使命が一体何なのか見つけ出すことに大きな意味を感じていて、使命が何か分かったら、それに一生懸命取り組むのです。

不公平なことに遭遇しても、提唱者はほぼ決してあきらめることなく、直感と思いやりの心を軸にして解決策に取り組めます。頭と心のバランスを取ることが生まれつき得意なので、大小の社会悪を是正するのに最適な人材です。ただ提唱者が忘れてはいけないのは、他の人のケアをしつつも、時には小休止を取り自分自身をケアすることです。

長所と短所

提唱者の長所

- 豊かな創造力: 提唱者は他の人たちとは違うタイプで、それは素晴らしいことです。自分の創造力を大事にしているので、自己表現をしたり型破りのことをしたりする機会をいつも探しています。
- 高い洞察力: うわべだけではものごとの真相を理解できないことを熟知しています。表面的なことにとらわれず、人生における深い真実の追求に努める人たちです。このような姿勢のおかげで、他人の本当の気持ち・動機・ニーズを不思議なほどにも正確に理解する能力があります。
- 道徳的: 強い信念や価値観を持つタイプで、とりわけ倫理的なことに関してはその傾向が顕著です。思い入れが強い事柄について提唱者が話すと、いかに懐疑的な人でも、提唱者の心から理想を追求する姿勢と信念に心を打たれ、説得されるでしょう。
- 熱意にあふれる: “人生における目的意識”を求めます。何も考えずに生活をしたり、ただ現状を維持したりするのではなく、理想を追求します。大きな夢を見るのもはばからず、自分が描く美しい将来のビジョンにかき立てられます。
- 利他的: 他人を犠牲にしてまで成功したいとは思いません。自分の特性をうまく活用することで社会貢献をしたいと考え、自分の言動が人にどう影響を与えるかを常に念頭に置いています。世の中を良くしたいと心の底から願っていて、まずは身近な人の生活の改善に貢献したいと考えます。



提唱者の短所

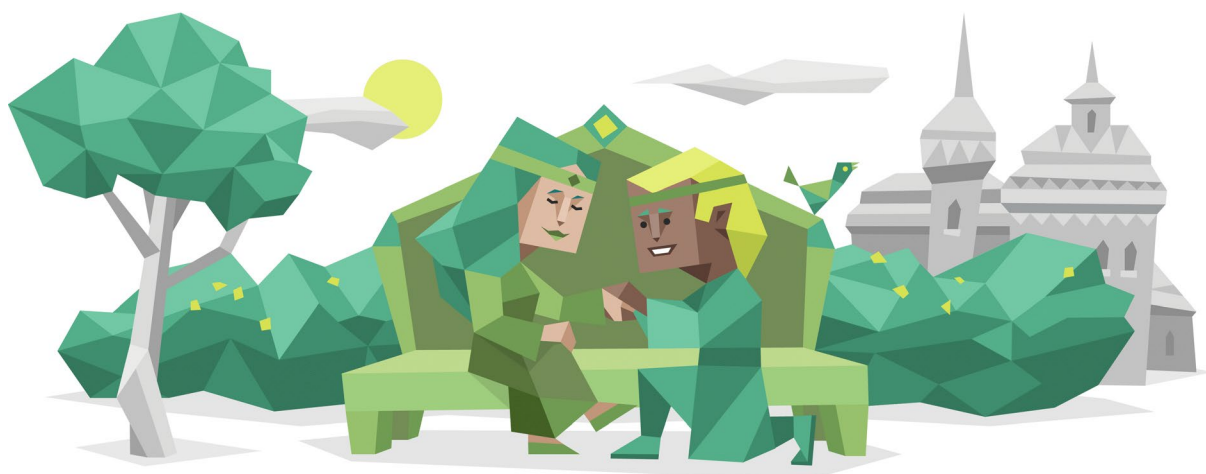
- 批判に敏感: フィードバックを毛嫌いするわけではありませんが、自分にとって非常に大切な信念や価値観を批判されると、過剰に自己弁護したり軽蔑的な態度を取ったりすることもあります。
- なかなか心を開かない: 正直さと誠実さ大切にする人たちですが、引っ込み思案な面もあります。つらい体験について誰かに打ち明けて脆弱さを開示するのは、気が

引けるでしょう。自ら助けを求めることはないので、無意識に自分を抑えこんだり、人と距離を置いたりすることがあるでしょう。

- 完璧主義: 提唱者の最大の特徴は理想主義です。理想の追求には色々と素晴らしい面もありますが、一方で現実生活における面倒なことをないがしろにしてしまう面もあります。改善されるべき点に固執して、もっとよいものを探すべきかと常時考えてしまうと、仕事・生活状況・人間関係のポジティブな側面に気づけない場合もあります。
- 平凡なことを避けたがる: 「並外れたことをしたい」という強い願望を持っています。でも、小さな事柄の積み重ねをしていかなければ、実現は難しいでしょう。自分の夢を日々のルーティンや“やることリスト”に落とし込んでいかなければ、壮大なビジョンを現実のものにするのは至難の業でしょう。
- 燃え尽きやすい: 完璧主義である上に遠慮しがちな気質なので、ストレスを溜め込んでしまいがちです。人助けをしたいという気持ちを大切にしつつも、セルフケアと休息を必ず取り入れなければ燃え尽きてしまうでしょう。

恋愛関係

「愛は、その反対の感情よりも、人の心に自然になじむものだ」
ネルソン・マンデラ



提唱者は充実した人間関係を求めるタイプなので、恋愛関係でも同様です。生き生きとした想像力の持ち主であると知られていますが、本物の愛以外のものにもとづく恋愛をするなんて、自分にはまったく想像できないでしょう。

相性の合うパートナーを見つけるまでには、時間がかかることもあるでしょう。周りの人には「えり好みすぎ」と思われるかもしれません。非現実的な期待を持ってしまう傾向があるのも事実です。完璧と理想を求める性分なので、実際には存在しない“非の打ちどころのない”パートナーや恋愛関係を求めがちです。でも、悪いことばかりではありません。ある

程度現実を忘れずにいられれば、理想を求めることで逆に恋愛関係が強化されることもあります。

これは本物？

提唱者は自分の中心的価値観をよく認識しているので、精神レベルでも自分にとって何が重要かを把握できているでしょう。よって、表面的な魅力だけでなく、より深いところで相性が合うか見定められます。このような洞察力のおかげで、共通の価値観や心の奥底からの結びつきがない人と提唱者が付き合うことはおそくないでしょう。

誠意を重視するタイプでもあるので、自分の考えを変えさせようとする人や、自分の考えに反することをさせようとする人にはいらだちを感じ、逆にありのままの自分を感謝してくれるパートナーに惹かれる傾向があります。

恋人としての提唱者は親しみやすい上、思慮深く、正直で、洞察力に富む人です。愛する人の心の奥底にあるニーズや欲望を見い出すために、辛抱強くパートナーと向き合うタイプです。

最適な恋愛関係を見つけられた提唱者は、感謝の意を忘れることはないでしょう。パートナーとのつながりを強め、また自己成長のためにも提唱者は努力を欠かしません。おかげで多くの人が夢見るような、偽りのない親密な恋愛関係を築きやすいでしょう。

愛の力

ありきたりの言葉では表しきれないほど濃密な関係を築ける提唱者は繊細である上、高い洞察力を持つので、パートナーは「自分に耳を傾けてくれるし、理解されている」と感じるでしょう。心の底から愛を感じる人たちで、愛情表現も恐れません。

提唱者は自分が大切にする人たちと偽りのない深い関係を築くことを、とても大事にします。

「愛は受け身の感情ではなく、新しいことを学び成長する機会だ」と提唱者は考える傾向があり、パートナーにも同様の考えを持つことを期待します。よって、コミットメントを嫌う人や軽率な人は、提唱者の恋人としてそぐわないでしょう。提唱者の情熱は“今この瞬間”以上のものです。有意義で愛情のあふれた恋愛関係が時間とともに進化していき、関係がより深まっていくことに提唱者は大きな充足感を覚えるのです。

「感情面だけでなくスピリチュアルな面でもパートナーとつながりたい」これが提唱者の本心です。恋愛関係だけでなく、心・体・魂の面からも一心同体になることも大事にする人たちなのです。

友人関係

「友人にしてあげられる一番のことは、ただ友人でいてあげることだ」
ヘンリー・デイヴィッド・ソロー



提唱者が妥協をして表面的な友人関係を築くことはほとんどありません。同僚やクラスメイトとのたわいないやりとりで心が満たされることはなく、誤魔化しがなく充実した友人関係を求めます。自分の夢を共有したり、心のうちを明かしたり。ありのままの自分を理解してもらい受け入れてもらう。そんな友人関係を望むので、大勢の知り合いに囲まれるのではなく、たった一人か二人の親友を持つことになるかもしれませんが、それで本人は満足なのです。

物静かで控えめだと思われることもあるかもしれませんが、仲の良い友達といるとき、提唱者はとても明るくなります。自分が夢中になっていること、興味のあること、信じていることについて、気の合う仲間と話し合うときに大きな喜びを感じるのです。ひとりの時間も楽しめますが、確実に信頼できる友達と時間を過ごし、よろいを脱いで自分らしく振る舞うことにも解放感を感じます。

心優しい人を探し求める

提唱者は、自分自身だけでなく友人に対しても大きな期待を抱く人間だと知られているでしょう。提唱者が期待することのひとつは誠実さ。この人の前では率直な物言いができない、自分らしく振る舞えないと感じる場合、そういう人と仲良くなることはないでしょう。また、自分自身に正直でない人はもちろん、提唱者に対して真摯な対応ができない人は提唱者にとって尊敬しがたい存在です。

友人同士お互いに支え合い、共に成長する。これも提唱者が期待することです。一緒に楽しい時間を過ごすことも大事ですが、それだけでは足りません。新しいことを学び、自己研鑽するようインスパイアしてくれる友達に囲まれることを望んでいます。「お互いの人生の目的を追求していくために助け合う」友情を深めるには、これが一番確実な方法だと提唱者は思うのです。

提唱者はただ単に、一緒に時間を過ごせる人を探しているのではありません。自分の信念や情熱に共感してくれる、運命の人を見つけたいのです。

このような友人を見つけるのは簡単ではなく、そう実感している提唱者もいるでしょう。提唱者の性格タイプの人是非常に少ないので、自分のような人にはあまり出くわさない場合があります。その結果、妥協してあまり面白くない友人関係で我慢するか、ひとりであることを受け入れる。このどちらかの選択肢しかないのか、と心配してしまうこともあるでしょう。

忠実さと誠実さ

幸いにも、思い描く友人像に見合った人を提唱者が見つめることはじゅうぶん可能です。少しのエネルギーを費やすだけで、状況は好転するかもしれません。あまり付き合いのない知り合いの中に、自分にぴったりの友人が隠れている場合もあります。初対面の相手を鋭く読めることで知られている提唱者でも、日常で出会う人が秘めている可能性を見落としてしまうこともあります。周囲の人たちを新鮮な目で見つめ直してみると、自分と同じ価値観や態度を持った、心から合う人を見つけられるかもしれません。

真の友人関係において、提唱者は忠実で思いやりのある友人です。友人に対して半端なく律儀で、しかも献身的なので驚かれることもあるでしょう。必要とされているときに友人を擁護するときほど、提唱者の勇敢さと献身さが浮き彫りになる状況はないでしょう。

心温かく熱意あふれる提唱者は、
友達が人生を切り開き成長するのをサポートします。

結局のところ、提唱者の真の友達になるには誠実で実直であることが不可欠です。年を追うごとに、たくさんの知り合いに囲まれるのではなく、ごく数人の本当の友達がいるだけになるかもしれません。お互いを理解し合い、豊かな友人関係が築けているなら、もちろん提唱者はそれで満足でしょう。

子育て

「直感的に私は子どもを痛みから守ろうとする。けれども困難を経験することで、骨格や人格が形成されることはよくあること」
ニコール・キッドマン

提唱者は子育てをする上で、自分にとって何が大事なのかをはっきりと理解しています。子どもが総じて善良で独立心の強い人間に育つ。提唱者が目指しているものはこれです。

責任感が強い人たちなので、親になったら子どもの人生をいかにポジティブなものにできるか真剣に考えるでしょう。

子育ては一筋縄でいかないことも、提唱者は理解しています。人生で最もやりがいのあることの多くは最も難しいことでもある。このことも知っているので、日々、子育てに苦労しながらも充実感や喜びを感じるのを忘れないでしょう。愛する人に献身的、思いやりがある、クリエイティブ。このような素晴らしい資質を色々なやり方で活用しながら子育てをするでしょう。



私のように、個性豊かな人間になれ

提唱者は思慮深く忠実な人なので、子どもの生活をよくするためには何でもする意欲があります。かといって、子どもの言いなりになる親だと思うのは誤解です。それどころか子供にかなり厳しい態度を示すこともあります。というのも、年月をかけて子どもの性格形成をサポートするという役割を明確に意識しているため、短期的な思考(子どもがダダをこねているので、なだめるためにお菓子をあげるなど)に飲み込まれることはほとんどないからです。

提唱者が子育てで得意なことはたくさんありますが、完璧な親はもちろん存在しません。子どもの性格や成長段階を考慮せずに、現実離れしたことを子どもに期待してしまうことも時にはあるでしょう。たとえば自分自身に求める誠実さと実直さを、同様に子どもに求めてしまい、結果として子どもが少しでも不親切だったり非道德的なことをしたりすると、うろたえてしまうかもしれません。または、子どもがクリエイティブかつ個性豊かで自立心の強い人間になるよう駆り立てた結果、子どもが精神的サポートや整った環境を求めると、そのような子どもの姿勢を軟弱だと考えてしまうこともあるでしょう。

提唱者は自分の信念や価値観の多くを、
無意識に子どもに投影してしまうことがあります。

提唱者の子どもはこのような親の期待は矛盾していると感じる上、すべての期待に答えるなんて絶対に無理だと感じるでしょう。子どもの性格と発達段階によっては、現実にも無理なものもあります。思春期以降の子どもは、親の期待に背いたり、親の価値観とは違う考えを持ったりすることで反抗するかもしれません。提唱者は非常に繊細な人たちなので、そのような態度を子どもが取ると、自分は子どもに非難または拒否されていると感じ、とても傷つくこともあるでしょう。

良い結果に終わる

子どもが善悪の違いをしっかりと理解する人間になるよう、提唱者は子育てに取り組めます。子ども自身が自分の信じることのために戦い、最高の人間になれるよう励ますでしょう。子どもが何才であっても、子ども自身が自分に正直であるようサポートすることに大きなやりがいを感じるのです。

最終的には、「期待通りに子どもが成長しなくても子育てに失敗したことにはならない」と気付く提唱者は少なくないでしょう。“他者の価値観に振り回されるのではなく、自分にとっての理想が何かを自ら考えられる人間”を育てることができたと考えるからです。自立心と誠実さ。このふたつを大事にして育てられたことに、子どもは特に年を重ねるうちにありがたみを感じるようになるでしょう。

キャリアパス

「『完全に成功しないかもしれないからやりたくない』と言うよりも、難しく、大胆で、不確実で、素晴らしい何かを目指して努力する過程で失敗するほうがいい」
ジミー・カーター

提唱者は自分の価値観と夢に見合ったキャリア、つまり“自分の社会的使命を実現できるキャリア”を見つけたいと思っています。目的意識を感じられない仕事では、いくら給料が良くても満足できないでしょう。それでもクリエイティビティと確固たる意思をバネに、あらゆる分野で自分のニーズに合った仕事を見つけられるのが提唱者の優れた点です。

さまざまな仕事を想像できるので、どれがベストか判断するのに困ることもあります。それぞれ異なるメリットがある、複数のかけはなれたキャリアパスを思い浮かべることもあるでしょう。選択肢が多いのでワクワクするかもしれません。とはいえ、一つの仕事を选ぶということは、それ以外の選択肢を捨てなければいけないので逆にストレスを感じてしまうかもしれません。ある仕事を選んだことで他の機会を逃してしまい、喪失感を感じることもあるでしょう。



目的を探し求める

人と関わり、人助けをする仕事に提唱者は大きな充実感を覚えるでしょう。よって、カウンセラー、セラピスト、心理学者、ソーシャルワーカー、教員、ヨガ・インストラクター、スピリチュアル・リーダーなどの職業に惹かれるのも当然です。顧客と直接やりとりをすることで真の人間関係を築けるサービス業も合っているでしょう。ヘルスケア分野の仕事(例: 看護師、理学療法士、作業療法士、医師、栄養士、または、鍼師など、よりホリスティックな領域の職業も含む)にもやりがいを感じられるでしょう。

提唱者の多くはコミュニケーションを非常に大事にする人たちです。本、ブログ、ストーリー、ビデオゲーム、脚本などで人気のある作品を作り上げ、物書きとしての仕事をする提唱者も少なくありません。プロとしてストーリーを語る機会が、提唱者にとってまさに夢の実現でしょう。音楽、写真、デザイン、イラストレーション、美術などの分野で働く人もいます。多くの提唱者は自分の想像から生まれたテーマやアイデアの“はけ口”を必要とするので、メインの仕事が芸術関係ではなくても、副業としてクリエイティブなことをする人もいます。

非営利の職場、たとえば美術館、自然環境の管理団体、フードパントリー(食料配給所)なども、魅力的に感じるでしょう。提唱者は利益の創出より社会貢献に関心があるので、このような職場はぴったりです。また、明らかに営利目的の職場にいても、人助けのために自分のエネルギーと創造力を生かす方法を探し出せる人たちです。所属や肩書きが何であれ、他の人は思いも寄らないパターンを見つけ出したり、独創的な解決方法を考え出したりして、人々の生活に変化をもたらすでしょう。

使命感

提唱者は抜群の適応能力がありますが、相性が悪い環境もあります。主体性や自主性を尊重しない職場、つまり従業員個人のニーズや特性に配慮せず、厳格な慣習や細かい手続きが多くある職場はことさらにです。過酷で激しい競争がある職場につきものの重圧や批判に、提唱者は居心地悪く感じることもあるでしょう。

したがって、比較的主体的に仕事ができるフレキシブルな職場を求めたり、はたまた独立して自分でビジネスを始めたりする提唱者も少なくありません。一見、性質が異なる分野の

かけはしになることに、やりがいを感じることもあります。たとえば、心理学について文章を書く、環境保護を専門とする弁護士になるなど。このように複数の異なる要素があるキャリアには、提唱者持ち前の学びへの熱意とクリエイティビティを役立たせる機会がふんだんにあるでしょう。

自分の良心・良識・独創性を大切にしながら自由に仕事に取り組めない場合、提唱者は息苦しく感じることもあるでしょう。

実際には、提唱者はどんな分野の職業についても、うまくやっていける人たちです。でも心の底から幸せを感じるには、自主性を持って仕事に取り組める環境があり、かつ自分の価値に合った仕事を見つける必要があります。提唱者が求めるのは、自分がサポートする人たちと共に学び成長する機会です。そのような機会さえ見つけられれば、“個人レベルで人類の幸福に貢献する”という自分の人生の使命を達成できていると感じることでしょう。

仕事における傾向

提唱者が仕事にやりがいを感じるためには、いくつかの具体的なニーズを満たしている職場環境に身を置くことが重要です。人助けをしながら、自分自身も成長できる。そんな仕事であれば、とても満足できるでしょう。自分の価値観に沿ったキャリアであることも必須です。

自分の価値観に合わないこと（たとえば、無意味な規則、社内政治、タチの悪い同僚など）が少しでもあると、やる気はかなりそがれるでしょう。平等と公正を重視する環境で、最も力を発揮できるタイプです。多くの提唱者は、職場での地位や肩書きに関わらず、他人を皆自分と同様に平等な人間とみなすよう意識しているでしょう。



提唱者が部下の場合

提唱者は協調性・自主性・気配りを重要視する傾向にあり、自分が部下の立場にいる場合、部下の意見を考慮してくれる心の広い上司を好むでしょう。上司が自分の意見を聞く耳を

持たないと感じると、もどかしく感じるかもしれません。逆に自分の話を聞いてくれる上司に出会えると、仕事の満足度が上がるでしょう。

共通の価値観を持ち、自分を褒めたり励ましたりしてくれる上司が、
提唱者にとって理想です。

提唱者は自分の信念を大事にし、何事にも一生懸命取り組むタイプです。よって人から批判されると、意気消沈してしまいます。いわれのない批判の場合は特にそうです。厳格なルール、形式的な体制、定型化された業務なども、気が滅入ると感じるでしょう。中でも、仕事をやり直すよう言われたあかつきには、本当にゲンナリしてしまうでしょう。やり直しの理由に納得できない場合はなおさらです。

もちろん 100%完璧な職場には巡りあえないこともあります。理想的ではない上司にあたってしまったら、精神的な回復力をバネに、他のメンターを探す必要があるかもしれません。いずれにせよ、苦手な上司の対応なども含めて、提唱者は仕事上の課題を解決する力をじゅうぶんに持っています。

提唱者が同僚の場合

提唱者は同僚の間で人気者で、尊敬される存在でしょう。頼りになる上、話術に長けている、デキる同僚だと思われる提唱者は少なくありません。何らかの対立があることに真っ先に気づき、関係者の真意を理解して衝突の主要因を特定する。この能力は提唱者が持つ強力な長所のひとつです。

応援を必要としている同僚と連携しサポートすることを、時には効率性より優先することもあるでしょう。通常、これは長所なのですが、提唱者の親切心を利用しようとする人もいるのでリスクでもあります。あまりやる気のない同僚の分まで仕事をして必要以上にエネルギーを使ってしまい、自分の心身の健康を犠牲にしてしまうこともあるでしょう。

提唱者は根っから親切なタイプなので、
人に利用されていると感じることもあります。

同僚からは好かれるタイプですが、内向的な人間でもあります。自分の目標達成のために、ひとりで自分のやり方で仕事をする。そのような時間も定期的に必要とするでしょう。周囲の人を不快に感じたり、同僚に敵意を持っていたりするわけではありません。他人への奉仕とセルフケアのバランスを取るために、自分一人で仕事に取り組む時間が必要なのです。

提唱者が上司の場合

提唱者は上司として権力を振るうことを嫌い、肩書きに関わらず、皆を平等の人間として接することを好みます。部下の仕事を細かく管理することも嫌い、部下が自分で考え、自主性を持って仕事に取り組めるようサポートするでしょう。お互いを尊敬し合う文化を作るよう皆に働きかけ、意識して周りの人を励ます傾向もあります。

提唱者は思いやりがあり、公正な気質の持ち主なので、
一人ひとりの部下の強みを見い出すことに誇りを感じるでしょう。

とはいっても、周りの人への期待が低いわけではありません。提唱者は平等を重視するので、部下に対しては、部下自身が決めた基準や目標を達成するよう期待します。頼りがいがあり、意欲的、かつ常に正直で、仕事に一生懸命取り組む。そんな従業員を求めるので、この期待に応えられない従業員にはすぐに気付くでしょう。

非道徳的な言動の従業員には、かなり厳しく接することもあります。信頼を失うような行為や道徳性を欠く行為を、提唱者は許容できません。従業員が誠実に仕事に励む場合には、チーム全員が仕事に満足し、大事にされていると感じ、また、皆が成功するよう、提唱者はたゆまぬ努力をするでしょう。

まとめ

「結局は、人のふるまい、つまり、その人がさまざまな状況に
どう対応するかを見れば、その人の人格は分かる」
ケイト・ブランシェット

ここに書いてあることは、優しさと独創性にあふれ、かつ、とてもレアで複雑な“提唱者”性格タイプのほんの“さわり”です。各セクションを読みながら、「これはどんぴしゃで自分に当てはまる」「やっとなにかに自分のことを理解してもらえた！」「すごく親しい人も知らないことをなんで知っているんだろう？」などと、心の中で思ったかもしれません。

自分のことを分かってもらえたと感じているかもしれませんが、私たちは実際にあなたのことをよく理解しています。長年の研究を通して、あなたのような提唱者の持ち味や苦手なことについて深い洞察を得ました。あなたの創造力や情熱、そして“正しいこと”をすることへの強い思い入れを、私たちは認識しています。あなたの性格が持つ負の側面も知っています。「たった一回しかない貴重な人生を思うように満喫できずに、自分の可能性をフルに開花できないかも」と不安が頭を離れないことも…。



提唱者には理想追求の姿勢、意志の強さ、よりよい将来を想像する力などの特性があります。ただし、人にほめられるだけで満足する人たちではありません。自分の長所を生かすことで、よりよい人間になり、世界に貢献したいと強く願っているのです。

だからこそ私たちの使命は、あなたのような提唱者が自分の特性を認識するだけでなく、フルに有効活用できるようサポートすることです。自分の性格タイプについて学ぶのは面白いのですが、それ以上に深い目的もあります。なぜなら、自己理解があれば、自分がこの地球上に存在する意義、つまり“自分の使命”を見失わずに生きやすくなるからです。

そこで、提唱者のあなたに質問があります。自分特有の強みをじゅうぶんに生かしながら、人生を歩む準備はできていますか？あなたが本来持っている、類いまれな潜在力を解放しませんか？自分の性格・人間関係・キャリアパス・使命について新たな洞察を得るために、プレミアムガイド&テストをお読みください。これは生涯にわたる“旅”になるでしょう。旅に出るのに必要なことはすべてプレミアムガイド&テストに書いてあるのでご心配なく。

[プレミアムガイド&テストをしてみる →](#)